

- 車内設備と喫煙車の関係（受動喫煙防止対策状況）がひと目でわかる -  
新幹線の編成表（2008年12月1日現在）

©作成・半沢一宣

！営利目的での無断転載を禁じます。学術研究など非営利目的で使用される場合でも、事前に作成者までご連絡ください。

\* 季節や時間帯によって、指定席の一部が自由席に（またはその逆に）変更になる列車があります。

\* 乗り込み調査データ欄の車両番号などは、原則として車いす対応座席付き車両のものを記しました。

参考資料 『鉄道ジャーナル』月刊、鉄道ジャーナル社  
『JR電車編成表 '05冬号』ジェー・アール・アール

### 記号の説明

指 = 指定席	自 = 自由席	グ = グリーン車
展 = 展望席	定 = 定員制	個 = 個室（セミコンパートメント等を含む）
H = 車いす対応座席	h = 車いすスペース	M = 多目的室
B = ベビーベッド付トイレ（車いす対応）	b = ベビーベッド付トイレ（車いす非対応）	
W = ベビーベッド無トイレ（車いす対応）	w = ベビーベッド無トイレ（車いす非対応）	
O = オストメイト対応トイレ（車いす対応）		
P = 公衆電話（車いす対応）	p = 公衆電話（車いす非対応）	
V = 飲料自動販売機（車いす対応）	v = 飲料自動販売機（車いす非対応）	
K = 売店	k = 車内販売準備室	C = 車掌室 S = 喫煙コーナー

細字	= 受動喫煙が発生していない禁煙車
<b>ゴシック体</b>	= 喫煙車
<b>斜字</b>	= 喫煙コーナーがある禁煙車（下記注を参照）
<b>斜字</b>	= 喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車（同上）
*印	= 増結車（連結しない列車があります）

注：「喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車」について

2004年秋に、産業医科大学（福岡県北九州市）産業生態科学研究所の大和浩教授の研究班が、営業列車内の粉じん濃度に関する立ち入り調査を行いました。その結果、喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車では、隣接する喫煙車などからドア開閉時に、もしくは空調装置を経由して流入するたばこ煙によって、両側を禁煙車に挟まれた禁煙車両と比べて著しく高い、厚生労働省が定めた職場の環境評価基準をオーバーする高濃度の粉じんが検出されました。このことから、本表で「**ゴシック体**」「**斜字**」「**斜字**」のいずれかで表現した車両は、いずれも受動喫煙を防止できていない、公衆衛生上問題がある車両であると言えます。

！JR東日本の新幹線は、2007年3月18日から完全禁煙となりました。  
（長野新幹線のみ2005年12月1日から実施）  
また、2008年3月31日限りで、すべての飲料自動販売機の営業を終了しました。  
（毒物混入事件発生への対策か？）

## もくじ

【東海道・山陽新幹線】	3
のぞみ（N700系、JR東海Z編成・JR西日本N編成）	3
のぞみ、一部のひかり・こだま（700系、JR東海C編成・JR西日本B編成）	3
のぞみ（500系、JR西日本W編成）	4
ひかり・こだま、一部ののぞみ（300系、JR東海J編成・JR西日本F編成）	4
【山陽新幹線】	5
ひかりレールスター、こだま（700系、E編成）	5
こだま（100系、KおよびP編成）	5
こだま（500系、V編成）	6
【九州新幹線】	6
つばめ（800系、U編成）	6
【東北新幹線】	7
はやて、やまびこ、なすの（E2系、J編成）	7
（参考）新型「はやて」（E5系）	7
【東北・上越新幹線】	7
やまびこ、なすの、とき、たにがわ（200系、K編成）	7
MAXやまびこ、MAXなすの、MAXとき、MAXたにがわ（E4系、P編成）	8
【東北～山形新幹線】	9
つばさ（400系およびE3系、L編成）	9
【東北～秋田新幹線】	10
こまち（E3系、R編成）	10
【上越新幹線】	10
MAXとき、MAXたにがわ（E1系、M編成）	10
【長野新幹線】	11
あさま（E2系、N編成）	11

\* 山陽新幹線の0系は、2008年11月30日限りで定期列車としての営業運転を終了  
しています（お別れ運転は同年12月14日に実施）。

【東海道・山陽新幹線】

のぞみ（N700系、JR東海Z編成・JR西日本N編成）

\* 号車の12番AB席が車いす対応座席（太平洋・瀬戸内海側、肘掛け跳ね上げ式）で、デッキ寄りの13番AB席が同伴者用として確保されています。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

多目的室は、富士山・玄界灘側です。

\* 号車の喫煙ルームには、自動ドアとエアカーテンが設置されていますが、受動喫煙防止効果は未確認です。また、試作編成では喫煙ルームは設置されていません。

乗り込み調査未実施記録

2007年9月24日（月曜日、秋分の日振替休日）

東京8時03分発「のぞみ107号」

車両番号・号車 = 786 - 3703（N3編成、2007年製・メーカー名は不明）

同日・東京12時50分発「のぞみ29号」

車両番号・号車 = 786 - 704（Z4編成、2007年製・メーカー名は不明）

博多

東京

自b	自	<i>S自b</i>	p指	指b	v指	<i>指Skb</i>	Cグ

pグb	<i>グS</i>	kv指HMO	P指	指b	指	<i>S指pb</i>	指

のぞみ、一部のひかり・こだま（700系、JR東海C編成・JR西日本B編成）

\* 号車の12番AB席が車いす対応座席（太平洋・瀬戸内海側、肘掛け跳ね上げ式）で、デッキ寄りの13番AB席が同伴者用として確保されています。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

多目的室は、富士山・玄界灘側です。

\* 号車の電話室は、車内専用の車いす（バギー）に限り、ドアを開けた状態で利用可能です。

乗り込み調査実施記録

2007年2月9日（金曜日）新大阪6時03分発「のぞみ200号」

車両番号・号車 = 726 - 749（C50編成、2004年・日立製）

再調査実施記録

2007年9月24日（月曜日、秋分の日振替休日）

東京7時33分発「のぞみ61号」

車両番号・号車 = 726 - 725（C26編成、2001年・日本車両製）

博多

東京

自b	p自	<i>v自b</i>	指	<i>指b</i>	p指	指vkb	Cグ

<i>グb</i>	<i>グC</i>	<i>kv指HMW</i>	P指	指b	<i>指</i>	<i>v指b</i>	<i>p指</i>

【東海道・山陽新幹線の続き】

のぞみ（500系、JR西日本W編成）

\* 号車の12番AB席が車いす対応座席（太平洋・瀬戸内海側、肘掛け跳ね上げ式）で、デッキ寄りの13番AB席が同伴者用として確保されています。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

多目的室は、富士山・玄界灘側です。

\* 号車の電話室は、車内専用の車いす（バギー）に限り、ドアを開けた状態で利用可能です。

\* 2009年度中に「のぞみ」としての営業運転を終了し「こだま」用8両編成への編成短縮改造が実施される予定です。

乗り込み調査実施記録

2007年3月16日（金曜日）東京7時50分発「のぞみ9号」

車両番号・号車 = 527-701（W1編成、1996年・日本車両製）

再調査実施記録

2007年9月24日（月曜日、秋分の日振替休日）東京6時50分発「のぞみ5号」

車両番号・号車 = 527-702（W2編成、1997年製・メーカー名は失念）

博多

東京

自b	p自	自b	指	指b	p指	指kb	Cグ

グb	グC	k指HMB	P指	指b	指	指b	p指

ひかり・こだま、一部ののぞみ（300系、JR東海J編成・JR西日本F編成）

\* 号車の12番AB席が車いす対応座席（太平洋・瀬戸内海側、肘掛け跳ね上げ式）で、デッキ寄りの13番AB席が同伴者用として確保されています。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

多目的室は、富士山・玄界灘側です。

\* 電話がすべて車いす対応構造なのは、電話台の下を消火器置き場とした内装の結果偶然そうなったものであり、バリアフリー化とはあまり関係がないと思われます。

乗り込み調査実施記録

2007年2月9日（金曜日）新大阪6時49分発「のぞみ202号」

車両番号・号車 = 325-744（J45編成、1997年・日本車両製）

再調査実施記録

2007年9月24日（月曜日、秋分の日振替休日）

東京7時06分発「ひかり401号」

車両番号・号車 = 325-3701（F1編成、製造年・メーカー名は失念）

博多

東京

自b	P自	k自b	指	指b	P指	指kb	Cグ

グb	グC	k指HMM	P指	指b	指	k指b	P指

【山陽新幹線】

ひかりレールスター、こだま（700系、E編成）

\* 号車の12A席が車いす対応座席（瀬戸内海側、窓側向きに回転）で、デッキ寄りの13A席が同伴者用として確保されています。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

多目的室は、中国山地側です。

\* 号車の電話室は、車内専用の車いす（バギー）に限り、ドアを開けた状態で利用可能です。

\* 号車のセミコンパートメントは、4人用×4室です。

乗り込み調査実施記録

2007年2月9日（金曜日）新大阪6時25分発「ひかり443号」

車両番号・号車 = 725 - 7711（E11編成、2000年・日本車両製）

再調査実施記録

2007年11月10日（土曜日）新大阪6時00分発「ひかり441号」

車両番号・号車 = 725 - 7708（E8編成、2000年・近畿車両製）

博多

新大阪

自b	自	vk自b	p指	指b	指C	kv指HMW	P指コ

こだま（100系、KおよびP編成）

\* 6両編成・4両編成とも、号車の14A・15A席が車いす対応座席ですが、自由席のため利用できない場合があります。

車いす対応座席は、窓側向きに回転するうえ肘掛けが跳ね上がらない構造になっているため、車いすからの乗り移りには困難が生じています。

多目的室は、いずれも中国山地側です。

乗り込み調査実施記録

2007年2月9日（金曜日）新大阪7時01分発「こだま633号」

車両番号・号車 = 125 - 3757（K60編成、2003年に2&2シート化などのリニューアル改造を博多総合車両所で施工）

再調査実施記録

2007年11月10日（土曜日）新大阪7時01分発「こだま633号」

車両番号・号車 = 125 - 3702（K59編成、2003年に2&2シート化などのリニューアル改造を博多総合車両所で施工）

博多

新大阪

自w	自	自HMkW	pC指	自w	自

（K編成）

自w	自	自HMW	p指

（P編成）

【山陽新幹線の続き】

こだま（500系、V編成）

\* W編成を号車の順に組み替えたうえ、2008年12月1日から営業運転を開始しました。

\* 号車の多目的室は、業務用室を授乳室として転用改造したものです。

\* 号車の10番AB席が車いす対応座席（瀬戸内海側、肘掛け跳ね上げ式）ですが、自由席のため利用できない場合があります。

多目的室は、玄界灘側です。

乗り込み調査実施記録

2009年4月4日（土曜日）岡山11時51分発博多ゆき「こだま745号」

2009年4月4日（土曜日）新大阪21時32分発岡山ゆき「こだま783号」

（いずれも車両番号・改造履歴などは失念）

博多

新大阪

自b	自	MS自b	p自	自b	指C	KS自HMB	p自

【九州新幹線】

つばめ（800系、U編成）

\* 号車の11A・12A席と号車の16A・17A席（いずれも有明海の反対側で、通路向きに回転）が車いす対応座席ですが、号車は自由席のため利用できない場合があります。

\* 号車の公衆電話（国際通話可能）には専用の「コミカカード」が必要です（日本テレコム系のため。NTTの「テレホンカード」は使用不可）。

乗り込み調査実施記録

2007年3月26日（月曜日）鹿児島中央8時16分発「つばめ38号」

車両番号・号車 = 821 - 3、号車 = 826 - 103

（U003編成、いずれも2003年・日立製）

鹿児島中央

新八代

指HW	P指	指b	v自	自HW	P自

2009年に増備された新800系の編成

\* 号車の14A・15A席（有明海の反対側）が車いす対応座席です。

（乗り込み調査未実施）

鹿児島中央

新八代

指HW	P指	指b	v自MC	自HMKB	P自

【東北新幹線】

はやて、やまびこ、なすの（E2系、J編成）

\* 普通車では号車の1B席が車いす対応座席（太平洋側の通路側。窓側向きに回転、ひじ掛けが跳ね上がる構造）で、隣の1A席（窓側）が同伴者用として確保されています。グリーン車（号車）では13D席（奥羽山脈側）が車いす対応座席です（同上）。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

\* 号車の多目的室は、奥羽山脈側です。

乗り込み調査実施記録

2007年3月16日（金曜日）東京6時04分発「やまびこ41号」

車両番号・号車 = E215 - 6、号車 = E224 - 106

（J6編成、いずれも1997年・日本車両製）

東京	（はやて）	盛岡・八戸
東京	（やまびこ）	仙台・盛岡
東京	（なすの）	那須塩原・郡山

指w	指	指w	p指	k指w	指	指w	p指	CグHMB	H指

（参考）新型「はやて」（E5系）

\* 2012年予定の東北新幹線新青森延伸開業時に運転開始予定の先行試作編成です。

\* 普通車は号車の12番AB席（太平洋側）、グリーン車は号車の14D席（奥羽山脈側）が車いす対応座席です。

\* 号車「スーパーグリーン車（仮称）」の車内設備は未定です。

指w	指	p指w	指	k指HpMB	指	指w	指	CグHKB	（未定）

【東北・上越新幹線】

やまびこ、なすの、とき、たにがわ（200系、K編成）

\* 号車の11番AB席が車いす対応座席で、デッキ寄りの12番AB席が同伴者用として確保されています（東北新幹線では太平洋側、上越新幹線では赤城山側。窓側向きに回転、ひじ掛けが跳ね上がる構造）。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

多目的室は、東北新幹線では奥羽山脈側、上越新幹線では榛名山側です。

乗り込み調査実施記録

2007年3月16日（金曜日）東京7時08分発「とき305号」（K49編成）

車両番号・号車 = 225 - 502（K49編成、1985年・東急車両製、2002年に仙台総合車両所でリニューアル改造を実施）

東京	（やまびこ）	仙台
東京	（なすの）	那須塩原・郡山
東京	（とき）	新潟
東京	（たにがわ）	高崎・越後湯沢

自w	自	自w	p自	自w	指	k指HMPW	指	Cグw	指

【東北・上越新幹線の続き】

MAXやまびこ、MAXなすの、MAXとき、MAXたにがわ（E4系、P編成）

\* 全車2階建て車両（車端部を除く）で、下表の8両編成を2本つないだ16両編成で運転される列車もあります。この場合、号車と号車の間の通り抜けはできません。

\* ~ および ~ 号車の2階は左右各3列の6列席で、背もたれはリクライニングしません。また、デッキにはジャンプシートがあります（補助席、下表ではjで表示）。

\* 普通車では号車の17番AB席、グリーン車では号車の21D席が車いす対応座席です（いずれも東北新幹線では奥羽山脈側、上越新幹線では榛名山側で、通路側向きに回転）。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます（16両編成列車では、号車と号車のいずれかが、最初から一般向け発売枠とされています）。

また、号車では号車側のデッキのリフトが車いす対応構造になっています（通常は車内販売用ワゴンの昇降に使用）。

\* 号車の多目的室は、東北新幹線では太平洋側、上越新幹線では赤城山側です。

乗り込み調査実施記録 2007年2月27日（火曜日）

仙台16時11分発「MAXやまびこ218号」の ~ 号車

車両番号・号車 = E455 - 3

号車 = E444 - 3（P3編成、いずれも1997年・川崎重工製）

東京	(MAXやまびこ)	仙台
東京	(MAXなすの)	那須塩原・郡山
東京	(MAXとき)	新潟
東京	(MAXたにがわ)	高崎・越後湯沢・ガーラ湯沢

自																				
自	jw	自	自	j	p	自	j	w	指	指	CK	指	B	指H	指	p	グ		BM	Hグ
自		自	自	j		自	j		指	指		指		指	指		指		BM	指



【東北～山形新幹線】

つばさ（400系およびE3系、L編成）

\* 東北新幹線内でE4系と併結して「MAXなすの」としても運転されます。

\* 号車の1D席が車いす対応座席です（山形新幹線内で月山側）。またE3系では、号車の6A席（グリーン車、山形新幹線内で蔵王山側）も車いす対応座席です。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には当日朝から一般向けにも発売されます。

400系の車いす対応座席は、窓側向きに回転するうえ肘掛けが跳ね上がらない構造になっているため、車いすからの乗り移りには困難が生じています。

E3系の車いす対応座席は、いずれも通路側向きに回転します。

\* 号車の多目的室（山形新幹線内で蔵王山側）はE3系にのみ設置されていますが、E3系と400系は共通運用されているため、どの列車にどちらの車両が使用されるかは決まっています。

\* 400系は2009年度から新型車両（E3系2000代）へ置き換えられる予定です。

乗り込み調査実施記録

400系            2007年3月16日（金曜日）東京6時28分発「つばさ101号」  
 車両番号・号車 = 411 - 8、号車 = 426 - 208  
 （L8編成、いずれも1992年製、メーカー名は失念）

E3系1000代    2007年9月24日（月曜日、秋分の日）  
 東京12時08分発「つばさ115号」  
 車両番号・号車 = E311 - 1002、号車 = E326 - 1002  
 （L52編成、いずれも1999年・川崎重工製）

（E3系2000代は未調査）

東京			山形・新庄			
グHCKB	H指	指pw	指	指w	自pw	自

（400系）

グHCMkB	H指	指pw	指	指w	自pw	自
--------	----	-----	---	----	-----	---

（E3系1000代）

グHCMkB	H指	指pb	指	指b	自pb	自
--------	----	-----	---	----	-----	---

（E3系2000代）

【東北～秋田新幹線】

こまち（E3系、R編成）

- \* 東北新幹線内でE2系と併結して「やまびこ」「なすの」としても運転されます。
- \* 大曲～秋田間は逆向き（大曲方が 号車、秋田方が 号車）。
- \* 普通車は 号車の1D席（東北新幹線内で奥羽山脈側）、グリーン車は 号車の6A席（同じく太平洋側）が車いす対応座席です（いずれも通路側向きに回転）。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。
- \* 号車の多目的室は東北新幹線内で太平洋側にありますが、車内販売の商品倉庫としても使用されるため、急病人の休憩などに利用できない場合があります（下記調査列車で車内販売乗務員が実際に商品倉庫として使用していました）。

乗り込み調査実施記録

2007年2月24日（土曜日）秋田12時01分発「こまち16号」

車両番号・ 号車 = E311-1、 号車 = E326-1

（R1編成、いずれも1995年製、メーカー名は失念）

東京			秋田		
グHCMkB	H指	指pw	指	指pw	指

【上越新幹線】

MAXとき、MAXたにがわ（E1系、M編成）

- \* 全車2階建て車両です（車端部を除く）。
- \* ~ 号車の2階は左右各3列の6列席で、背もたれはリクライニングしません。  
また ~ 号車のデッキにはジャンプシートがあります（補助席、下表ではjで表示）。
- \* 普通車では 号車の23E席、グリーン車では 号車の27D席が車いす対応座席（いずれも2階席の榛名山側で、通路側向きに回転）で、車いす用のリフトが設置されています。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

号車の多目的室も、榛名山側です。

- \* 号車のパウダールーム（女性用更衣室、トイレの隣）におむつ交換台があります。
- \* 平屋部分で空欄の場所は機器室です。

乗り込み調査実施記録

2007年3月9日（金曜日）東京13時52分発「MAXたにがわ415号」

車両番号・ 号車 = E158-201、 号車 = E148-1

（M1編成、いずれも1994年・川崎重工製、2004年に新潟新幹線車両センターでリニューアル改造を実施）

東京 (MAXとき) 新潟  
東京 (MAXたにがわ) 高崎・越後湯沢・ガーラ湯沢

自	w	自	j	自	j	w	自	pj	指	指	w	指
自		自		自			自	自	指	指		指

	指		B	H指	K	C	グH	B	M	グ		グ	w	指
	指			指			指		P	指		指		指

【長野新幹線】

あさま（E2系、N編成）

\* 普通車では 号車の1B席が車いす対応座席（浅間山側の通路側。窓側向きに回転、ひじ掛けが跳ね上がる構造）で、隣の1A席（窓側）が同伴者用として確保されています。  
 グリーン車（号車）では13D席（千曲川側）が車いす対応座席です（同上）。  
 これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

\* 号車の多目的室は、千曲川側です。

乗り込み調査実施記録

2007年3月16日（金曜日）東京6時52分発「あさま503号」

車両番号・号車 = E215 - 9、号車 = E224 - 9

（N3編成、いずれも1997年・日立製）

東京				軽井沢・長野			
自w	自	自w	p自	k自w	指	CグHMB	PH指

以上